

●全国学力学習状況調査(小6)

課題の見られた問題の概要	結果

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5)

課題の見られた問題の概要	結果
自分たちが通う小学校のある区市町村の位置を理解する。	38.10%
人々を火災から守る消防士の働きを捉える。	39.00%
道具の移り変わりと共にそれに伴った暮らしの変化の様子の特色を捉えることができる。	42.40%
都道府県の位置と名称を理解する。	46.60%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
・学習したことそのものはよく理解し、身に付いている。	・学んだ知識を用いて、グラフや表、地図を読むことが難しい。 ・図と言葉、表と言葉を比較したり、関連付けたりして考えることが難しい。

・グラフや表、地図を読むための指導の工夫を行う。
・図と言葉、表と言葉を比較したり、関連付けたりして考える場を指導の中で設ける。

●調査結果を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生		
2年生		
3年生	・西東京市に住んでいることは理解しているが、西東京市が東京都のどこに位置するのかわかっていない。地図の東西南北を理解していない。	・自分たちの住んでいる市の様子について確認する時間を意識して取り入れる。東西南北の確認、地図記号の確認を地図の学習の際にはしっかりと理解させる。
4年生	・グラフや表などの資料から情報を読み取る力が低い。 ・都道府県については関心が高いが、名称や位置などの基礎的知識が定着していない。	・グラフや表などの資料から分かることを読み取る活動を多く取り入れる。 ・白地図等へ書き込む作業や、かるたやクイズ作りなどのゲームも取り入れ、都道府県への関心を高め、基礎的な知識の定着を図る。
5年生	・グラフや表などの資料から情報を読み取る力が低い。 ・都道府県の位置などの基礎的知識が定着していない。	・普段から「わかること」と「予想できること」を明確にして読み取る練習をする。 ・小テストなどを用いて、知識の定着を図る。
6年生	・表やグラフから必要な情報を探し出し、活用する力が低い。 ・都道府県の名称はやや身に付きつつあるが、場所や県庁所在地などの把握など基礎的な知識が身に付いていない。	・資料を活用するために、日頃から読み取る活動を授業の中に組み入れる。 ・情報を取り入れやすくするために、新聞やICT機器などを活用し、随時授業で知識の定着を図る。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
・自分たちの生活に身近なことに興味や関心をもてるようになってきている。	・図や資料から正確に情報を把握することが難しい。

●学校全体で取り組む内容

<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳や白地図を意図的に活用して、方位や地図記号を身に付けさせる。 ・資料から必要な情報を正確に取り出したり、目的に応じた情報を選択したりできるように、資料分析・活用場面を意図的に設定する。 ・調べたことを分類整理したり、図に表したりして、分かりやすくまとめる方法を身に付けさせる。 ・地図・表・グラフ・年表から目的に合った情報を読み取り、理解できるようにする。 ・2つ以上の資料を関連付けたり、検証したりしながら、正確な情報を得ることができるようにする。

●本校の実態を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生		
2年生		
3年生	・社会科が始まったばかりなので、図や資料から何がわかるかということに慣れていない。(読み取る力が低い。)	・図や資料から何がわかるかといった活動を多く取り入れる。実際に他の資料と照らし合わせて違いなどを比較する活動も入れていく。
4年生	・図や表を見比べて、関係を読み取ったり、それを自分で文章や作品に表現することを苦手としている。	・自分に身近な資料を用いて、資料を読み取ったり、それを用いて、レポートや新聞等に表現したりする機会を増やす。 ・立体地図模型作りを通して、地図への理解を深める。
5年生	・図や表を見比べて、資料から読みとれることを新聞やレポートにまとめることを苦手としている。	・児童に身近な資料や関心の高い資料を用いて、資料を読み取る練習をする。 ・学習のまとめとして新聞などを書く経験を積ませていく。
6年生	・表や図を見てその資料を読み取り、新聞や報告文などの形にして活用することを苦手としている。	・生活の中で活用されている資料や、児童の興味関心が高い資料を活用して、読み取りの練習をする。 ・単元の終わりの時間を活用して、その内容を分かりやすい言葉でまとめられるようにする。